

個別機能の検討事項・検討課題 について(その3)

2020年11月24日

第5回町田市立学校の新たな学校づくりのあり方検討部会

個別機能の検討その3

ア. 特別教室

イ. 特別支援教育

ア. 特別教室

- ① 共通
- ② 音楽室
- ③ 理科室
- ④ 図工室
- ⑤ 家庭科室
- ⑥ 美術室
- ⑦ 技術室
- ⑧ ラーニングセンター
- ⑨ 学校ギャラリー
- ⑩ 特別教室数の算定

①共通

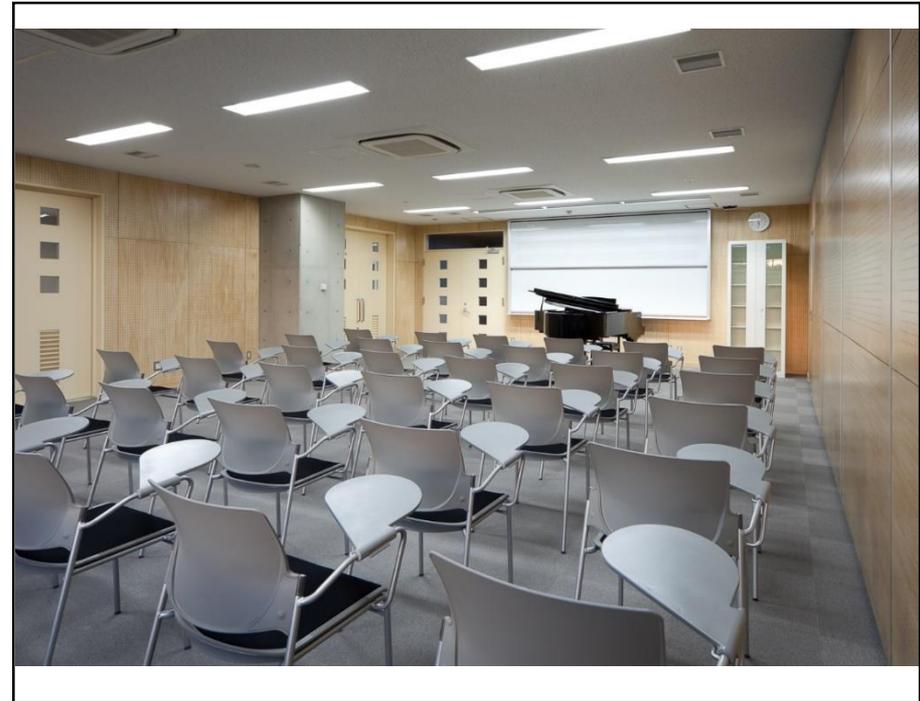
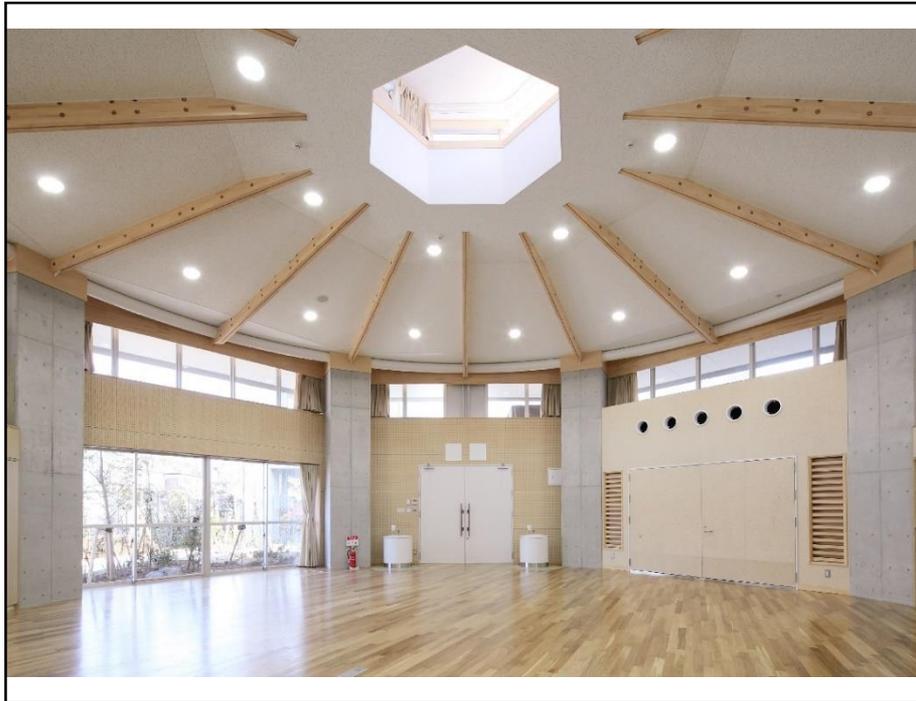
【基本方針】

- 活動内容に応じた適切な家具計画、適正な面積・室形状
- 各特別教室に隣接して、準備室を設置
(理科室：薬品等の危険物を安全に保管できる空間を設置。)
(図工室・美術室：揮発性の高い塗料などの危険な材料、各種工具等を安全に保管できる空間を設置。)
※上記等の整備考慮して計画
- 手洗い場を設置 ※個数については設計段階で協議

②音楽室

【計画事例】

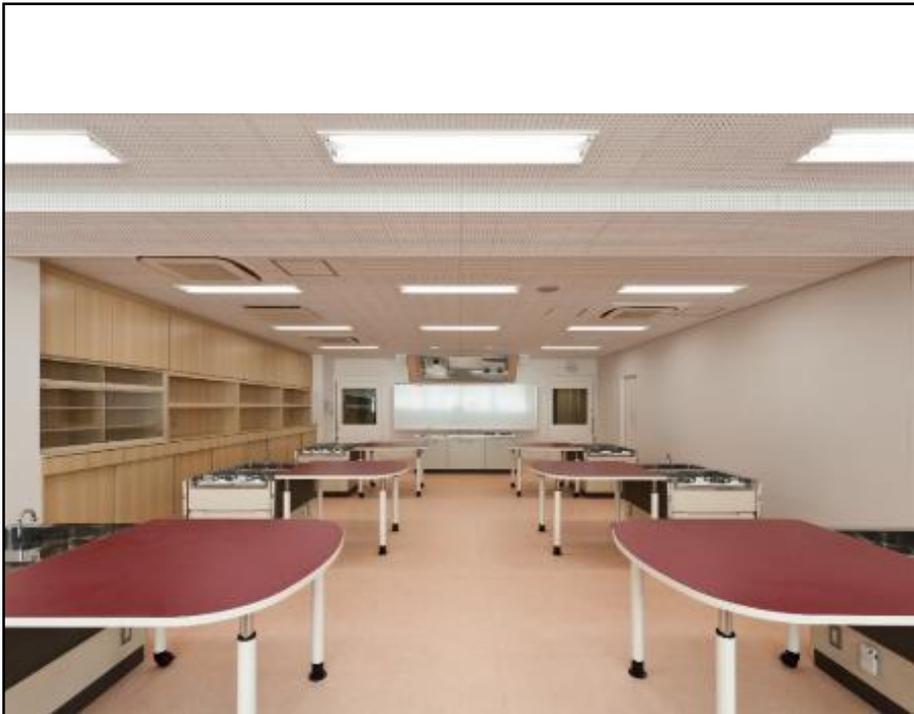
- 防音機能、音響機能に配慮した計画
- 楽器庫の整備



③家庭科室

【計画事例】

- 調理・被服の作業を行しやすい調理台、作業台の配置
- 地域開放や災害時に炊き出しの場としての利用を想定



③家庭科室

【計画事例】町田市内の小学校：カセットコンロを設置

小山中央小学校



鶴川第一小学校



③家庭科室

【計画事例】中学校：調理台を整備

川崎市中学校：被服室



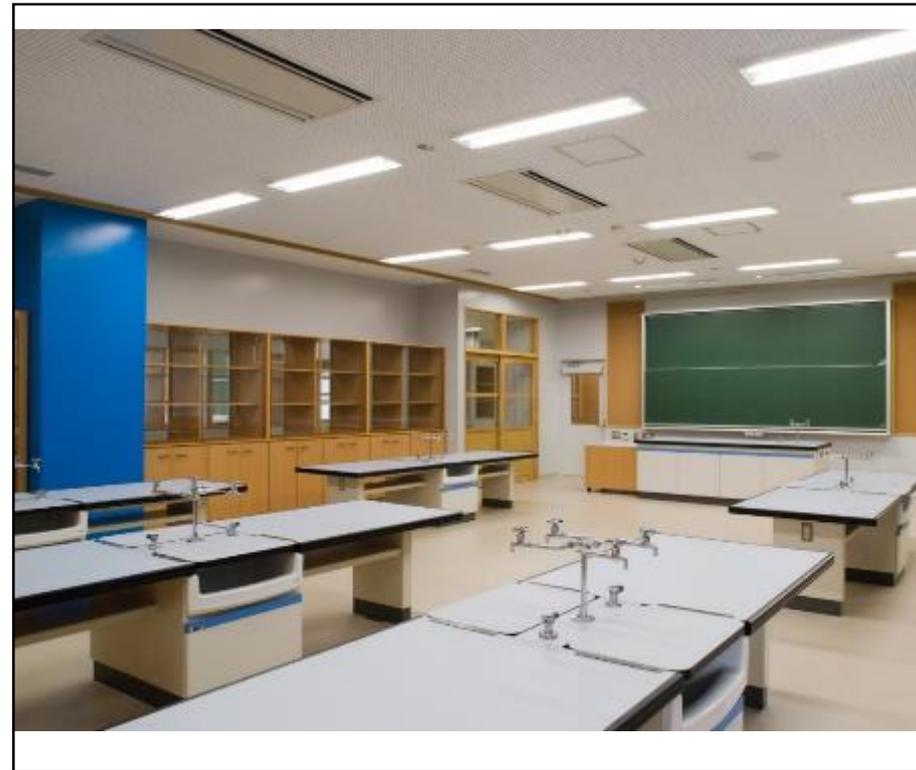
鶴川中学校：調理室



④理科室

【計画事例】

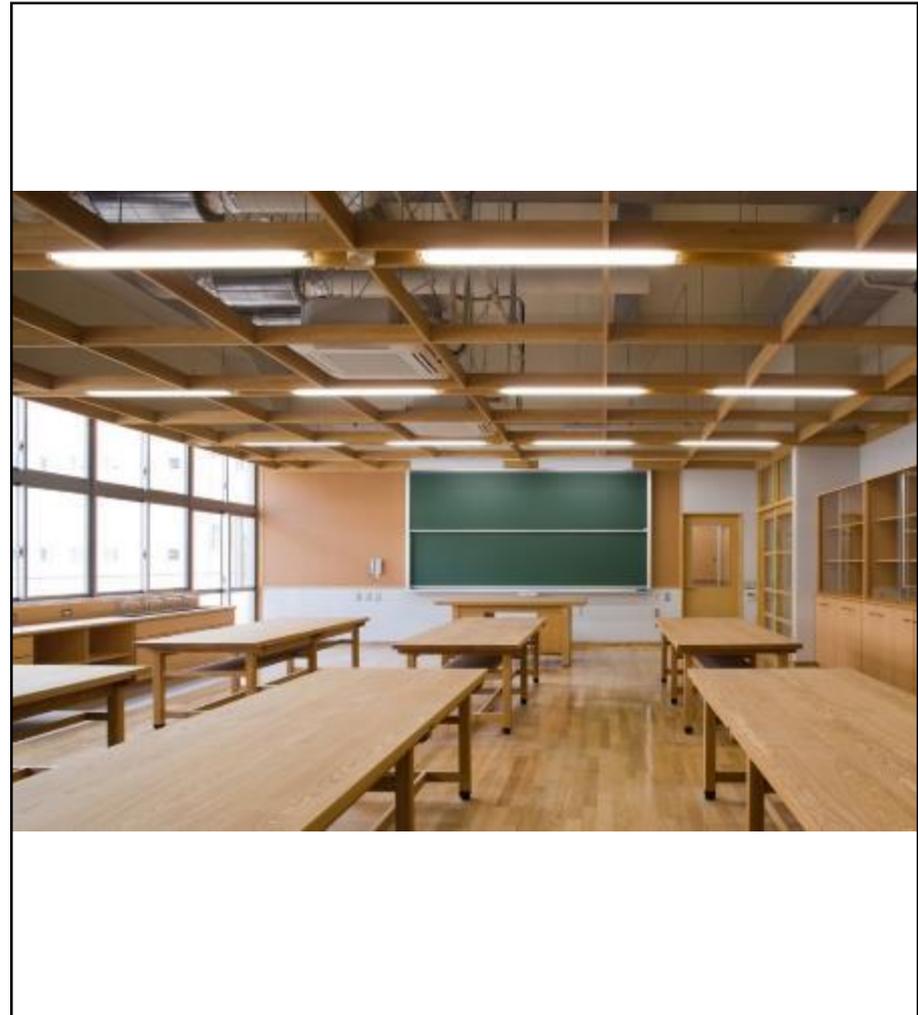
- 観察・実験に対応した実験台の整備



⑤ 図工室

【計画事例】

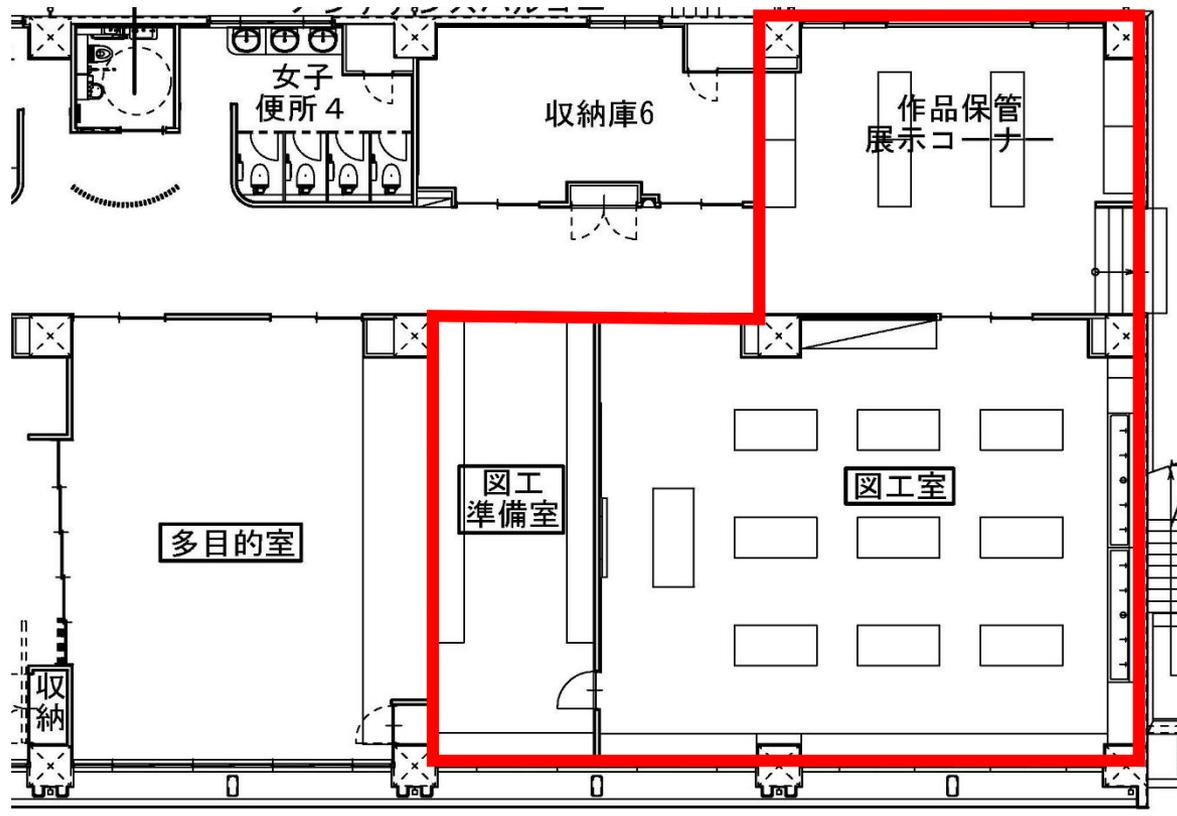
- 水場や工作機械など安全に作業しやすい環境を整備
- 作品の保管のためのスペースを確保



⑤ 図工室

【計画事例】山武市松尾小

- 作品の保管のためのスペースを確保



④理科室、⑤図工室：屋外テラス

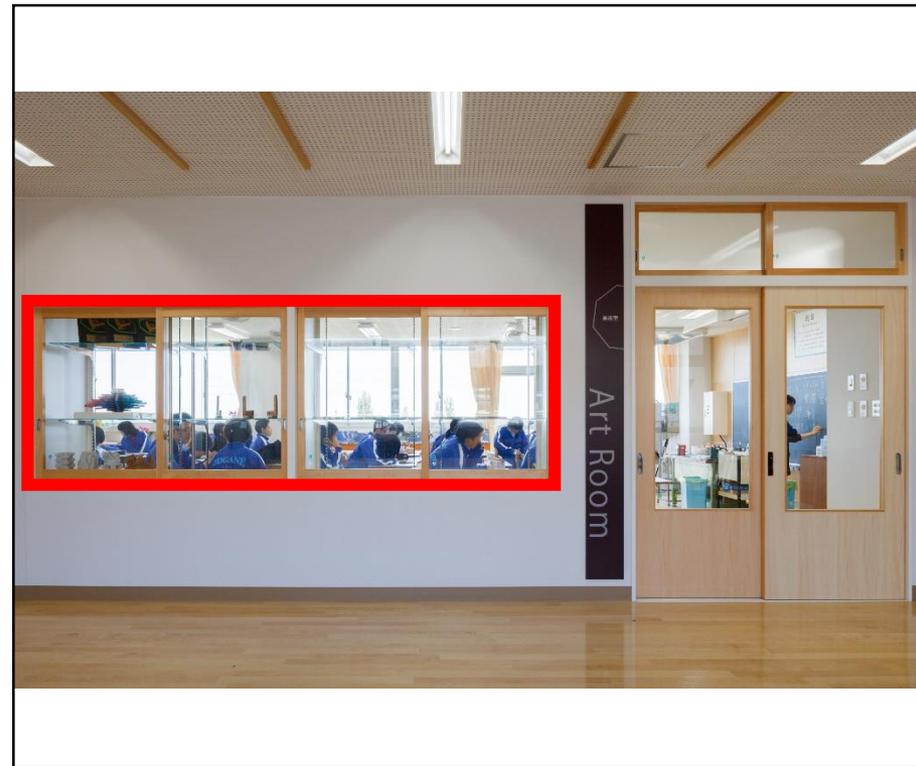
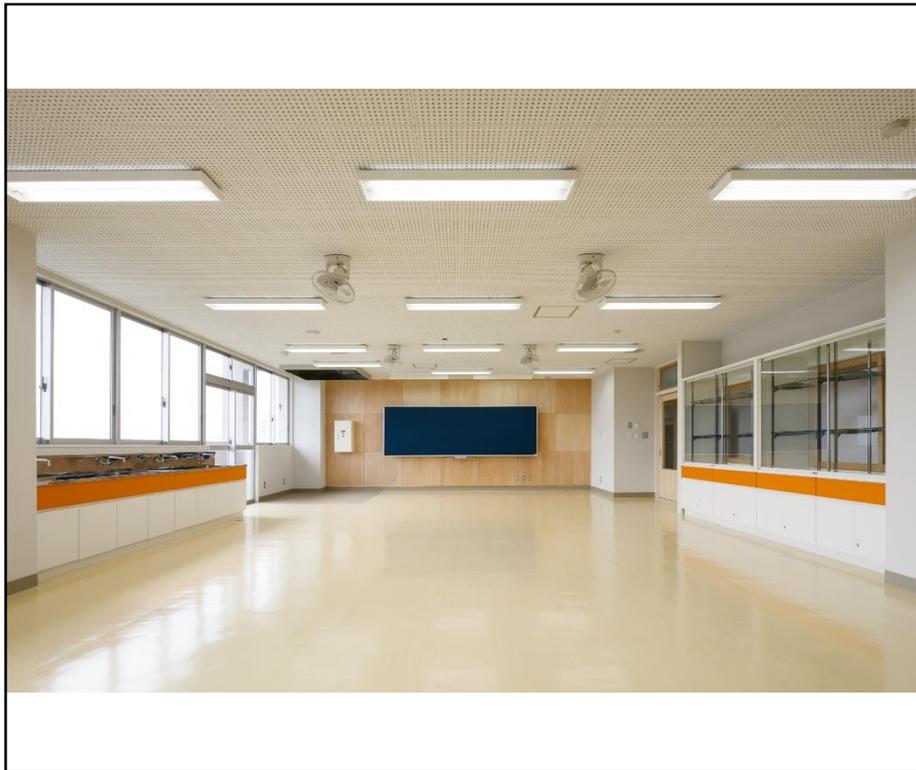
【計画事例】観察、実験がスムーズに行えるように隣接して計画



⑥美術室

【計画事例】

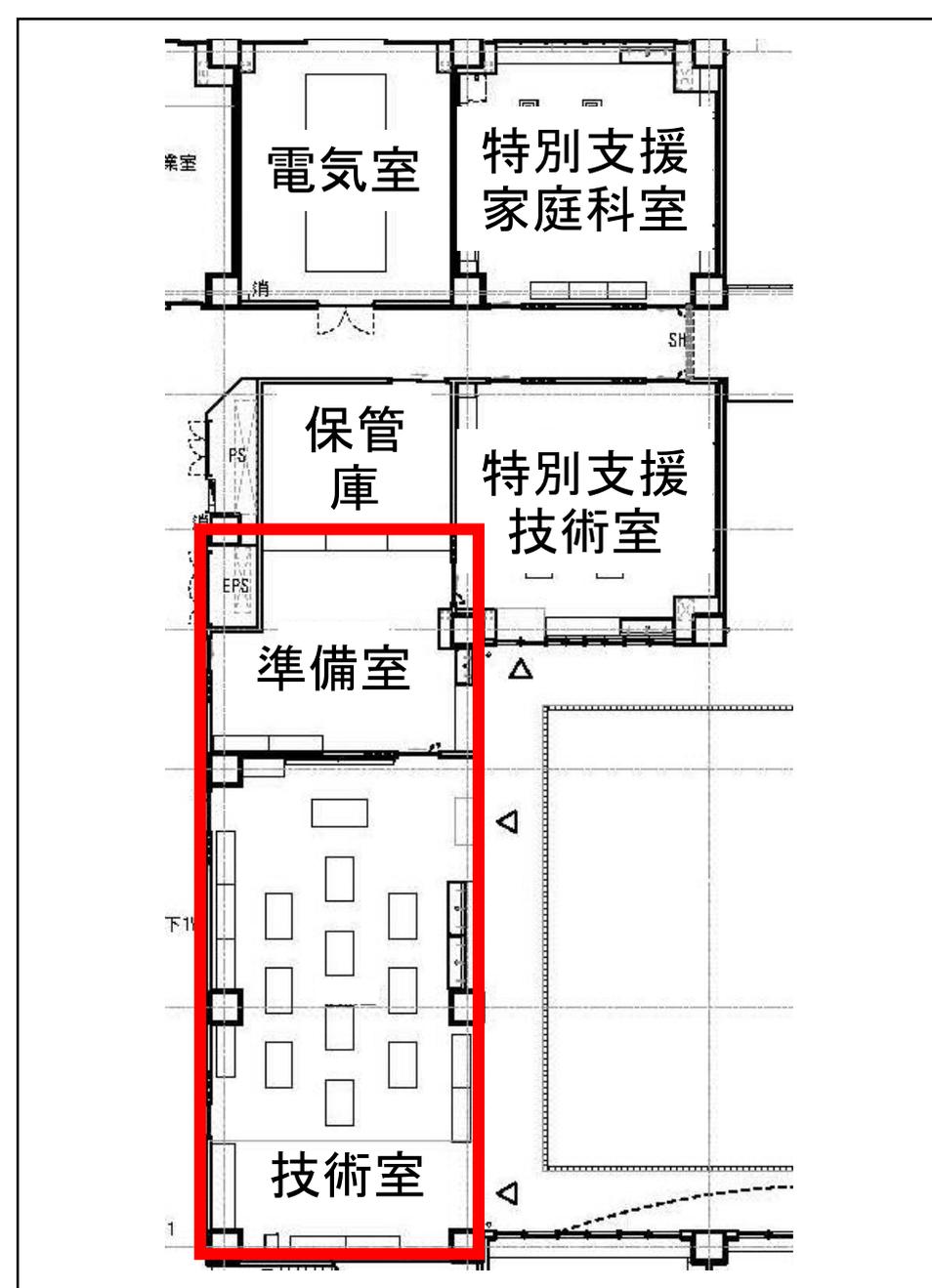
- 作品の展示・保管・鑑賞のためのスペースを確保



⑦技術室 (木工・金工)

【計画事例】町田第一中

- 教室の広さは、木工・金工を行えるよう、2教室分を確保。
- 兼用の準備室を設け、十分なスペースを確保
- 電動機械など安全に作業しやすい環境を整備



⑧ラーニングセンター

【計画事例】

様々なメディアを使った学習が可能である、多様な教室を組み合わせたラーニングセンター(情報センター)を整備

学習スペース
(クワイエットルーム)

図書スペース

閲覧スペース



⑧ラーニングセンター

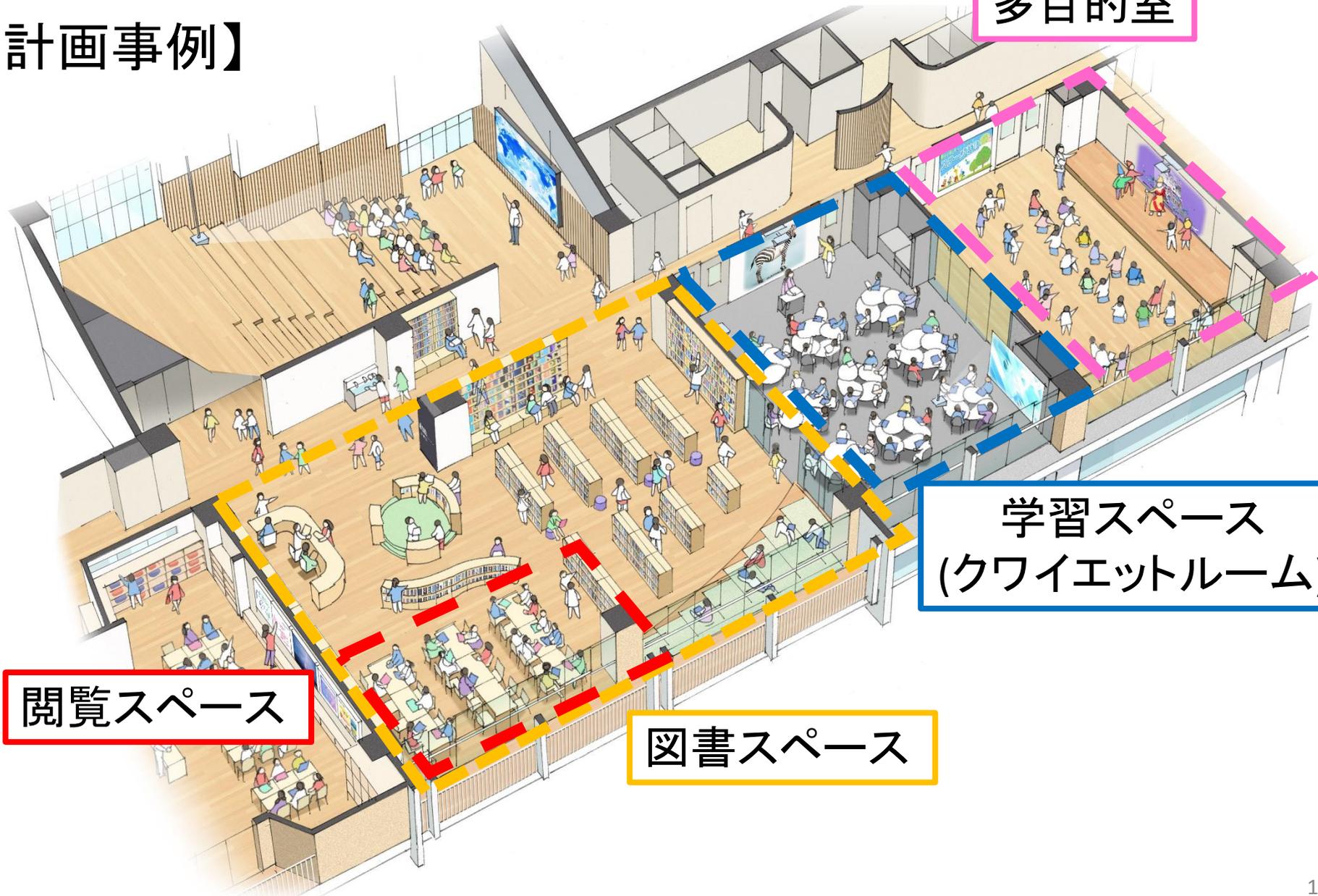
【計画事例】

多目的室

学習スペース
(クワイエットルーム)

閲覧スペース

図書スペース



⑧ラーニングセンター

【基本方針】

- 主体的・対話的で深い学びの場として空間整備
- 閲覧スペース、学習スペース等の各々の機能を、別の学級が同時に使用できるように、間仕切り、遮音等に配慮

⑧ラーニングセンター

【計画事例】

小学校：絵本コーナー



中学校：個人の自習スペース



⑧ラーニングセンター

【計画事例】

小学校：畳スペース



中学校：畳スペース



⑨学校ギャラリー

【基本方針】

- 様々な用途で活用できる空間を整備(学校全体で1教室分)

⑨学校ギャラリー

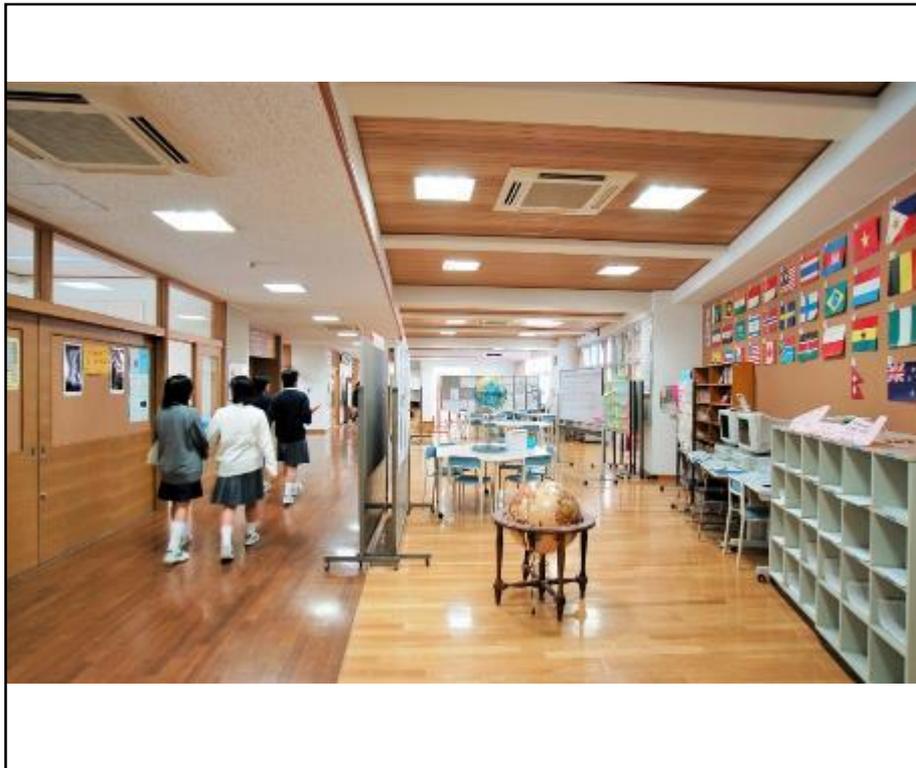
【計画事例】コミュニケーションスペースとして整備



⑨学校ギャラリー

【計画事例】

- 子ども達の興味を惹く教材や子ども達の作品を展示できる空間を校内の様々な場所に整備



⑨学校ギャラリー

【計画事例】特別教室の廊下側に展示スペースを整備

美術



技術



⑩特別教室数の算定

【検討課題】新設小学校：24クラスの場合

教室名	数	広さ	備考
理科室	2	1.5教室	4年～6年が利用
準備室	2	0.5教室	—
音楽室	2	1.5教室	3年～6年が利用 (1, 2年は普通教室で実施)
準備室	2	0.75教室	—
図工室	2	1.5教室	3年～6年が利用 (1, 2年は普通教室で実施)
準備室	2	0.75教室	—
家庭科室	1	1.5教室	5, 6年生が利用
準備室	1	0.5教室	—
ラーニングセンター	1	3.5 教室 以上	図書・閲覧・学習(クワイ エットルーム)スペース

⑩特別教室数の算定

【検討課題】新設中学校：18クラスの場合

教室名	数	広さ	備考
理科室	2	1.5教室	—
準備室	2	0.5教室	—
音楽室	2	1.5教室	—
準備室	2	0.75教室	—
美術室	2	1.5教室	—
準備室	2	0.5教室	—
技術室(金工・木工)	1	2教室	金工・木工一体型
準備室	1	1教室	—
家庭科室(被服・調理)	1	2教室	被服・調理一体型 両方の授業形態に対応
準備室	1	1教室	—
ラーニングセンター	1	3.5教室以上	図書・閲覧・学習スペース

イ.特別支援教育

①特別支援学級

- ・教室配置、広さ
- ・各室の配慮事項

②特別支援教室(サポートルーム)

- ・教室配置、広さ
- ・各室の配慮事項

①特別支援学級 教室配置

【基本方針】知的、情緒学級の想定

- 児童・生徒数に合わせて学級数を整備する。
- 準備室、プレイルームを整備する。
- 全員が集まれるプレイルームを整備することが望ましい。
- 児童・生徒数の変動に対応出来るよう、移動間仕切りを設け、教室数を調整できるように配慮する。
- 個人情報管理、特別支援学級の教室に隣接して、準備室を配置する。
- 安全な避難上の観点から、1階配置することが望ましい。
- トイレは隣接した位置に整備する。
- 近接してシャワー設備を設けることが望ましい。

①特別支援学級 広さ

【基本方針】知的、情緒学級の想定

○教室の広さ(普通教室を1教室分とした場合)

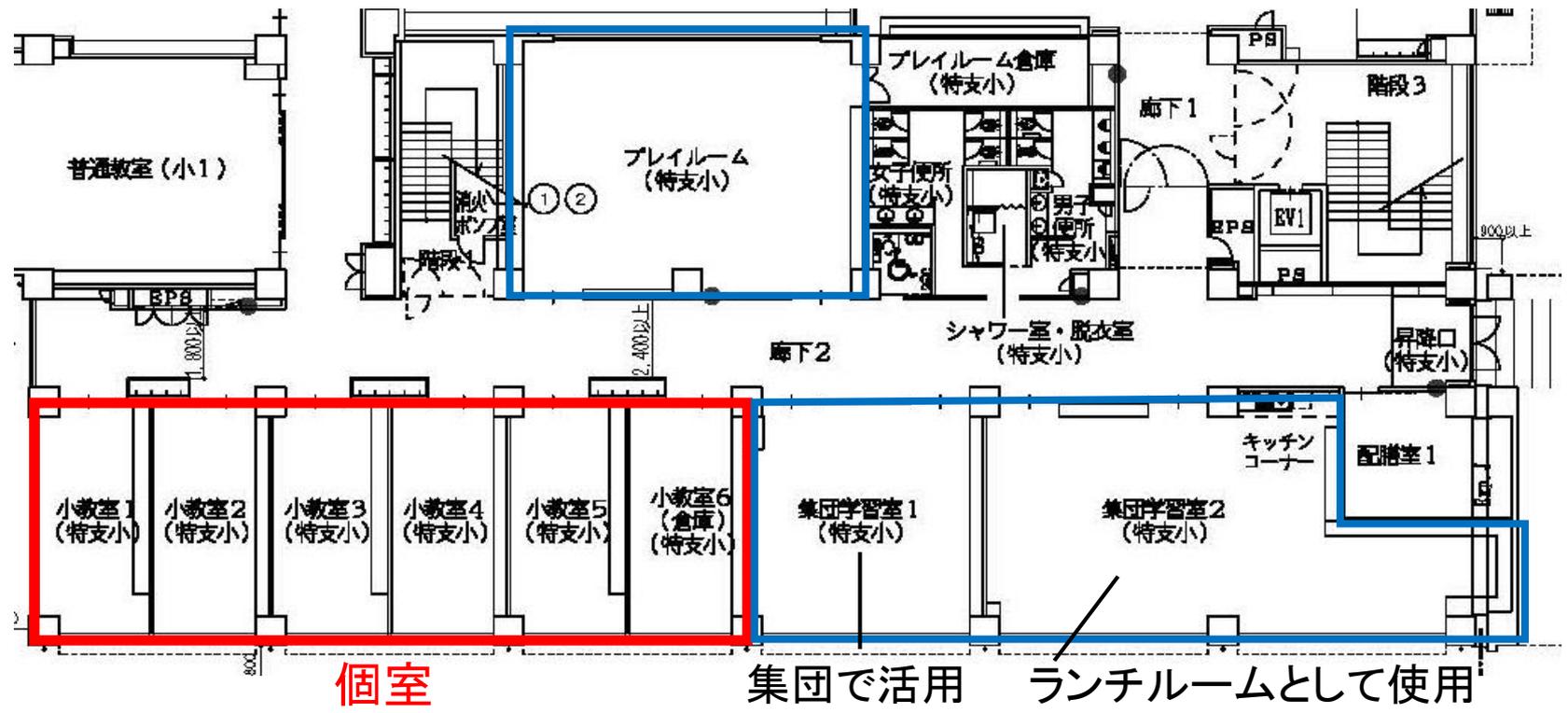
特別支援学級	: 0.5教室
準備室	: 0.5～1教室
プレイルーム(集団学習室)	: 1教室以上
トイレ、倉庫等	: 適宜

①特別支援学級

【計画事例】小学校：教室の大きさ

- 半教室分の個室を複数設け、個別指導が行いやすいように計画

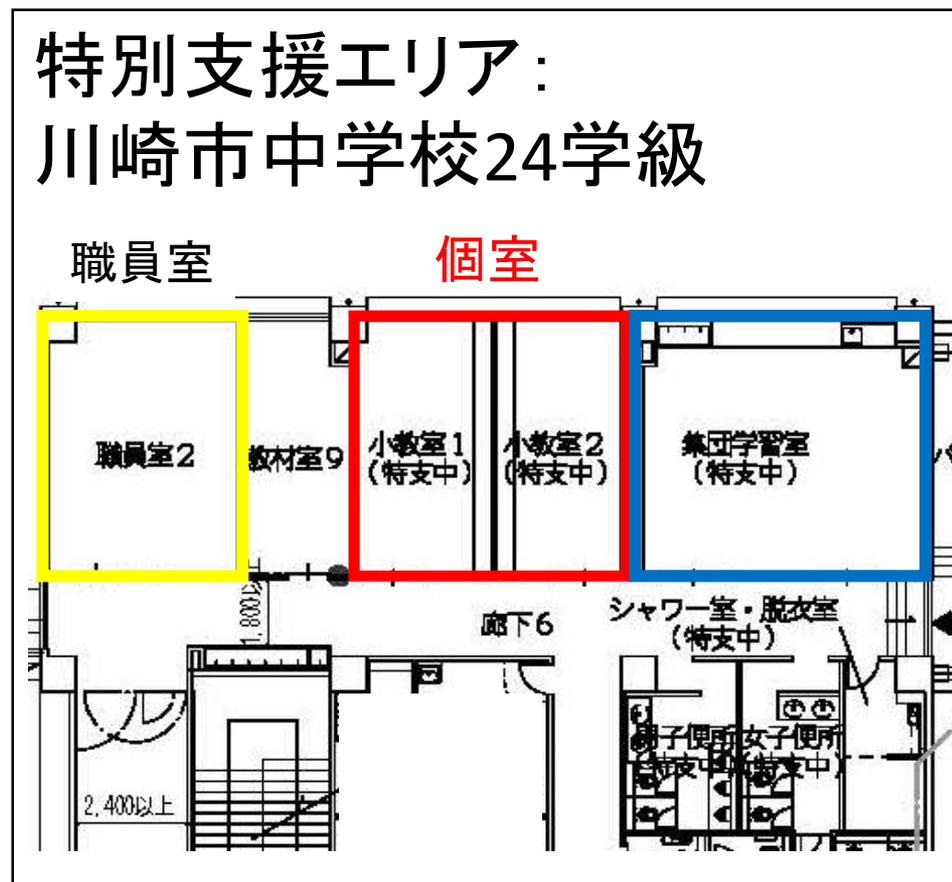
特別支援エリア：川崎市小学校30学級



①特別支援学級

【計画事例】中学校：教室の大きさ

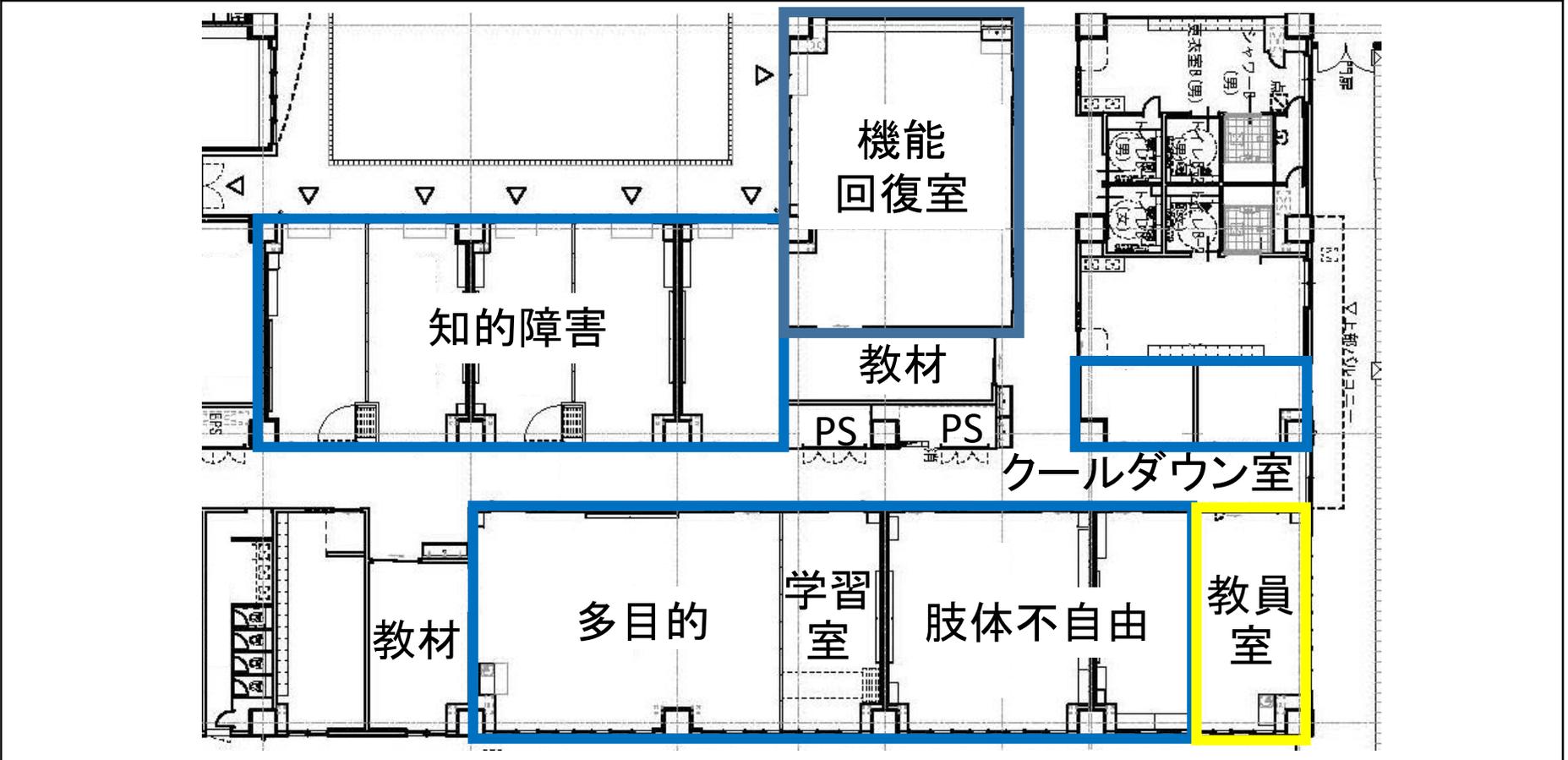
- 半教室分の個室を複数設け、個別指導が行いやすいように計画



①特別支援学級

【計画事例】町田第一中学校：2021年完成予定

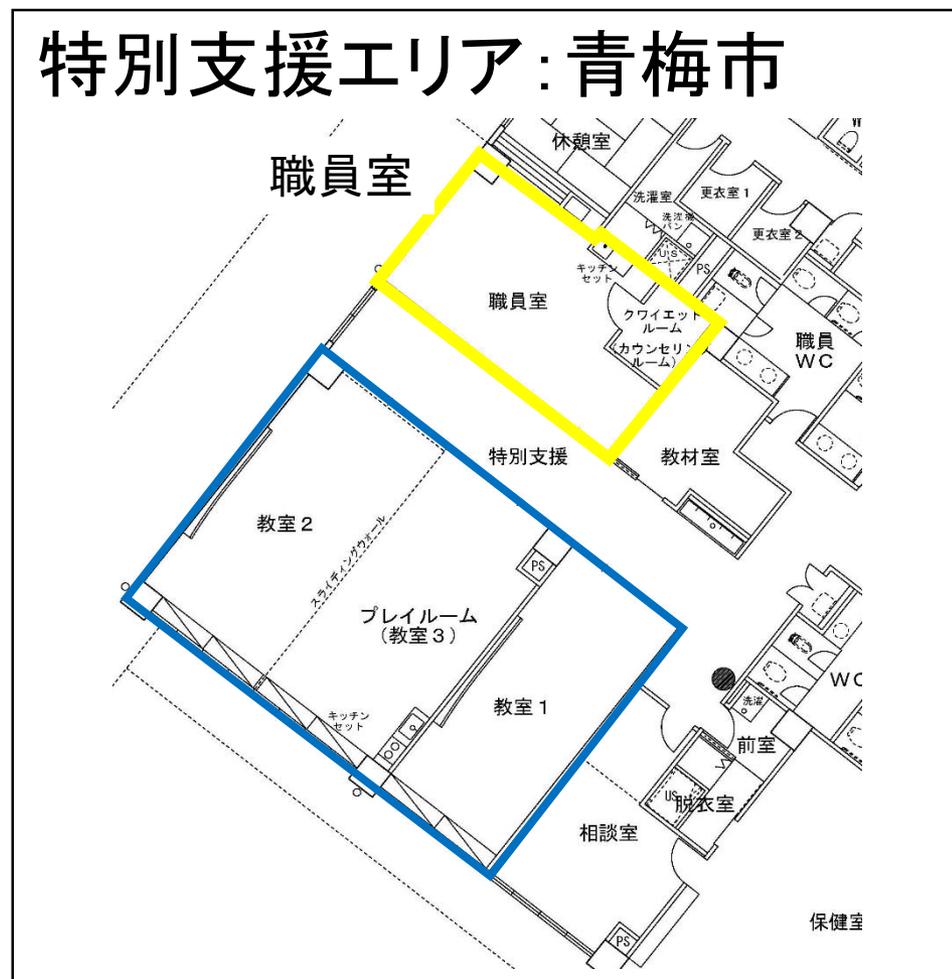
1階特別支援エリア



①特別支援学級

【計画事例】小学校：職員室

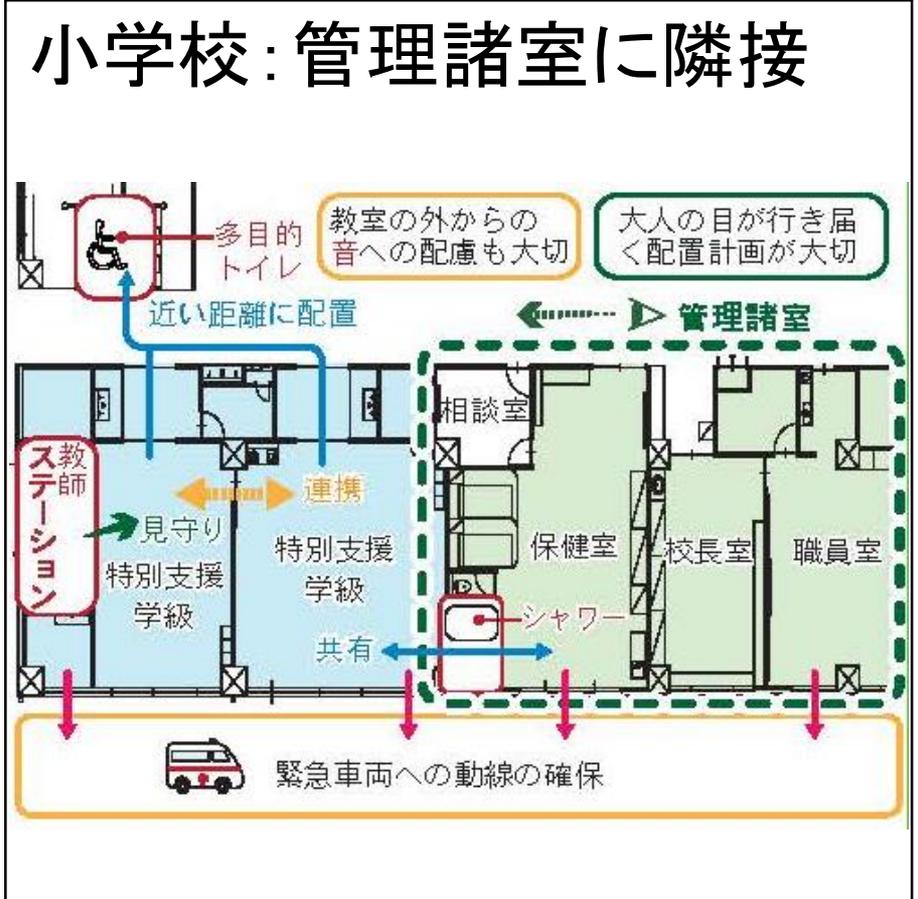
- 特別支援エリアに特別支援専用の職員室を設置



①特別支援学級

【計画事例】見守りやすい配置、連携しやすい配置

- 子どもたちが安心して過ごせるよう、管理諸室に隣接して配置
- 緊急車両の動線に配慮した計画



①特別支援学級

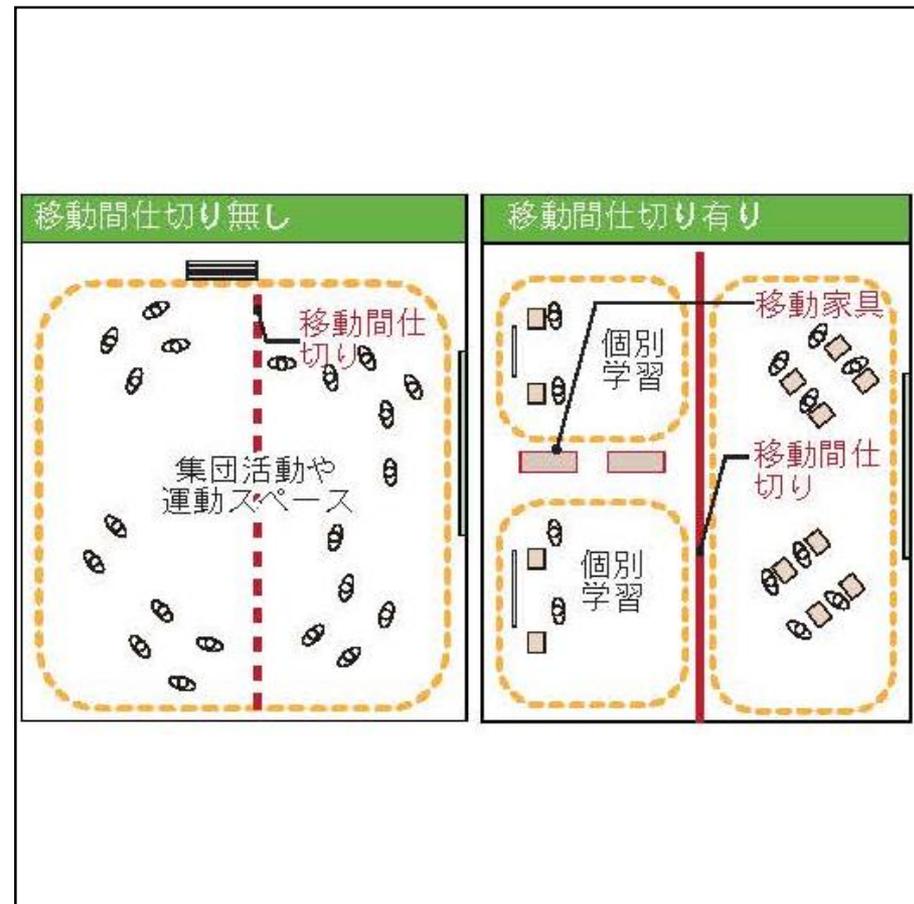
【計画事例】交流しやすい配置計画

- 通常学級の子ども達と交流が持てるように、動線や配置に配慮した計画とすることが望ましい。

①特別支援学級

【計画事例】可変的な使われ方に対応出来る設え

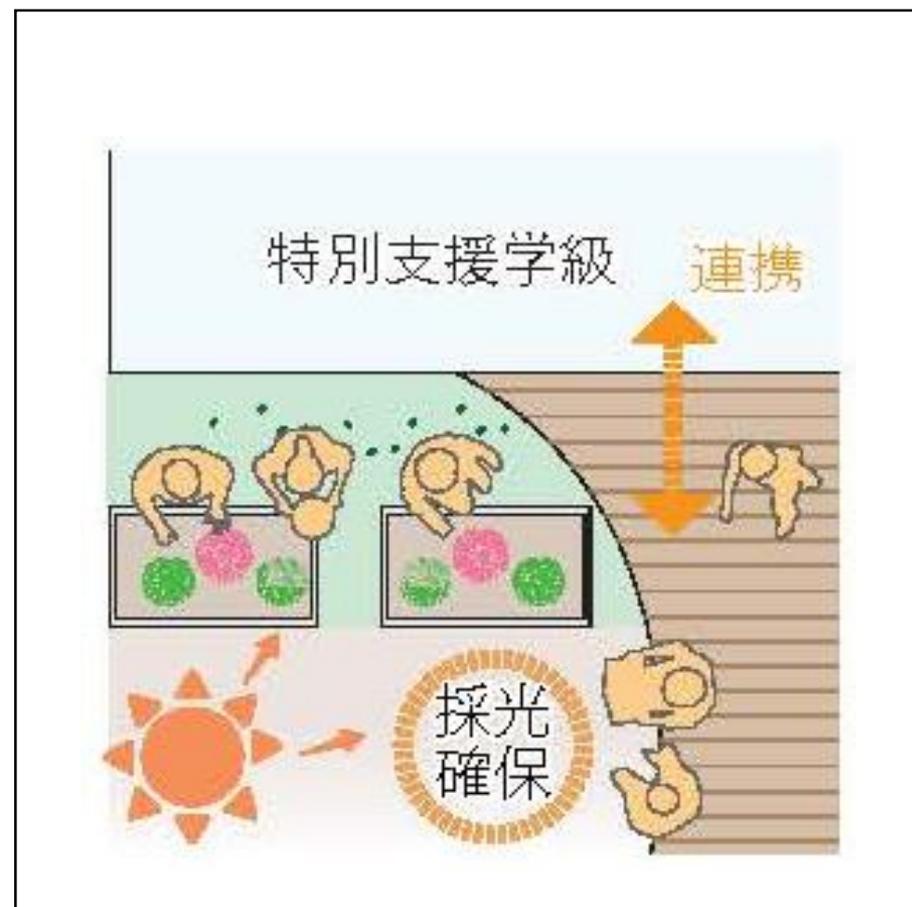
- プレイルームは、児童・生徒数の変動や、個別学習等に柔軟な対応ができる環境を整備



①特別支援学級

【計画事例】明るくのびやかに過ごせる環境づくり

- 様々な学習や活動、生活の場として、明るく開放的な場所に計画。
- 屋外活動も想定されるため、校庭との連携や、プレイコート・菜園などを計画（小学校）



②特別支援教室 教室配置

【基本方針】

- 全体指導室＋個別指導室＋準備室を整備。
- 職員室には、拠点校※の場合、巡回指導の職員の数分の個人机を設置できるスペースを確保。
- 拠点校以外は、職員室に会議スペースを確保し、巡回指導員と通常級の教員が常に連携しやすくする。
- 特別支援教室(サポートルーム)は、通常学級から通いやすい動線や配置に配慮することが望ましい。

※特別支援教室の拠点校。(巡回指導の教員は拠点校に配置され、各特別支援教室で巡回指導を行う。)

②特別支援教室 広さ

【基本方針】

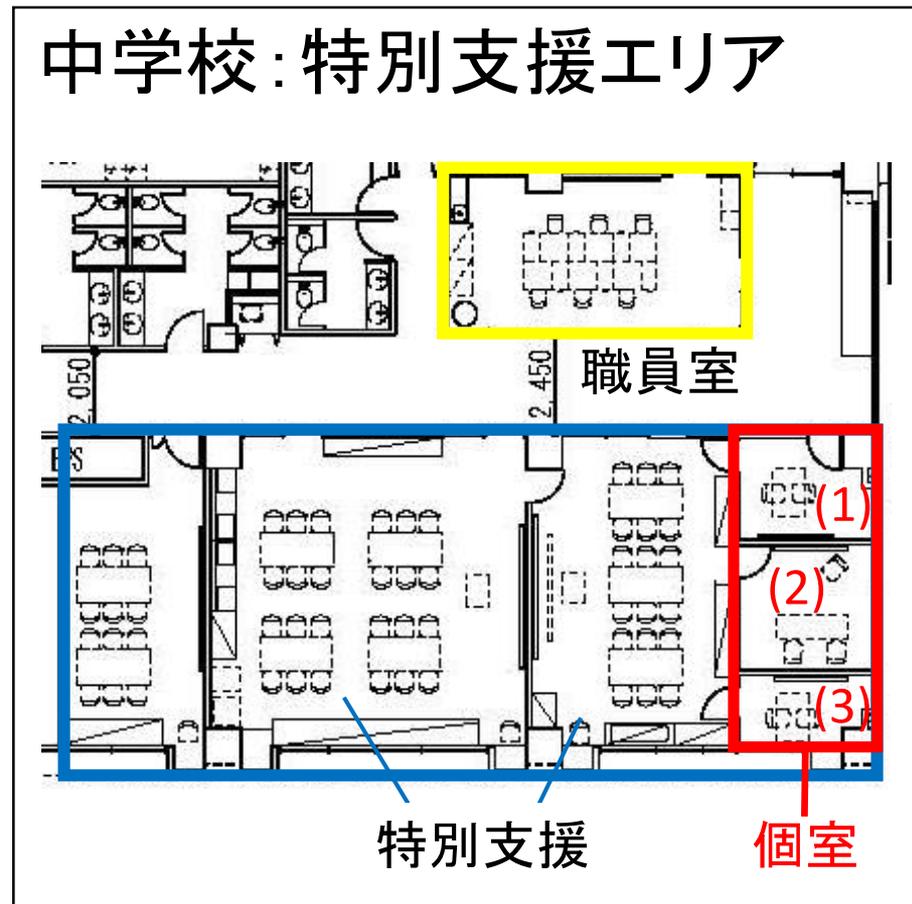
○教室の広さ(他の普通教室を1教室分とした場合)

全体指導用教室	: 1教室
個別指導室	: 10m ² 程度
準備室	: 0.5教室

②特別支援教室

【計画事例】教室の大きさ

- 個室を複数設け、個別指導が行いやすいように計画

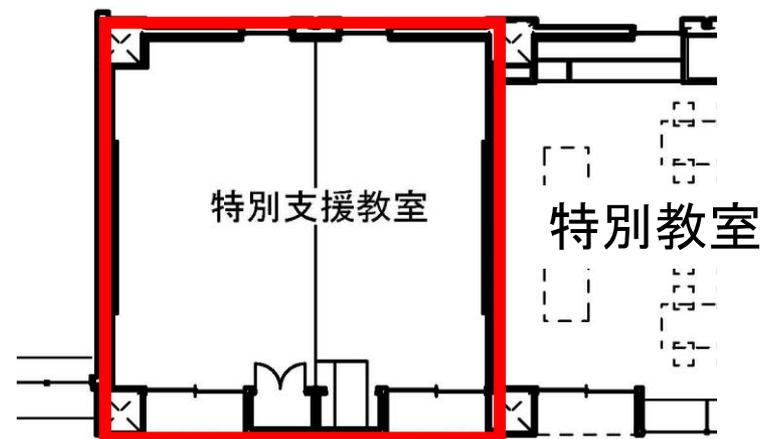


②特別支援教室

【計画事例】小学校

- 普通教室の配置された階に計画し、1教室分を確保した計画。
- 教室を移動間仕切りで分割できるように計画。

小学校：特別支援教室



普通教室